

バイスコープ® 1 キロ粒剤

■種類名：シクロピリモレート・テフリトリオン粒剤
■有効成分：シクロピリモレート-----2.0%
 テフリトリオン-----3.0%
■化管法指定物質：テフリトリオン〔第1種〕-----3.0%

■登録番号：第24284号
 (三井化学クロップ&ライフソリューション登録)
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)
■登録初年：2019.10.09
■性状：類白色細粒
■有効年限：3年
■包装：1kg×12袋

【特長】

- 移植後14日～60日と幅広い時期で使用できる中・後期除草剤。
- シクロピリモレートとテフリトリオンの相乗効果により、高葉齢の雑草に対して高い効果がある。
- ALS阻害剤抵抗性のオモダカ、コナギなどに特に高い効果を発揮する。
- イボクサ、クサネムなどの特殊雑草にも有効。

【適用内容】(2024年12月11日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	シクロピリモレートを 含む農薬の 総使用回数	テフリトリオンを 含む農薬の 総使用回数
移植 水稻	一年生雑草 (ノビエを除く) オモダカ ホタルイ クログワイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ シズイ	移植後 14日～60日 ただし、 収穫45日前 まで	1kg /10a	1回	湛水散布、 ごく浅く 湛水して散布 又は 無人航空機 による散布	2回以内	2回以内
直播 水稻	一年生雑草 (ノビエを除く) ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	稲3葉期～ 出芽後60日 ただし、 収穫45日前 まで					

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 一年生雑草のうちノビエには効果が劣るため、ノビエに有効な移植またはは種前後の除草剤との体系で使用する。
- 生育期に入った雑草に効果があるが、特に多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。オモダカは矢じり葉5葉期まで、ホタルイ、クログワイは草丈15cmまで、ウリカワ(移植水稻)は7葉期まで、ウリカワ(直播水稻)は5葉期まで、ミズガヤツリ(移植水稻)は草丈30cmまで、ミズガヤツリ(直播水稻)、シズイは草丈20cmまで、ヘラオモダカはヘラ葉2葉期まで、また、一年生雑草のイボクサ(移植水稻)、クサネム(移植水稻)は草丈20cmまで、アゼガヤ(移植水稻)は草丈10cmまで、ミズアオイ(移植水稻)は心形葉1葉期までが本剤の散布適期である。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めてごく浅い湛水または通常の湛水状態のまま田面に均一に散布すること。散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、止水期間中の入水は静かに行うこと。本剤を浅水で散布した場合、その後の自然落水により田面が露出する期間が長引くと効果にフレが出るおそれがあるため、散布後7日以内に再入水すること。
- 本剤をほ場内の雑草が発生する箇所を対象に部分的に散布する場合は次の注意を守ること。
 - ◆ ごく浅い湛水状態のまま雑草発生部およびその周縁部1m程度を含めた部分に、散布する面積に応じた使用量(1㎡あたり1g)を均一に散布すること。
 - ◆ 散布後3日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるため、晴天の持続する時を選んで使用すること。また、散布後3日以内の再入水はしないこと。
 - ◆ 同一水田内で複数箇所散布を行う場合は、散布箇所が重ならないようにすること。
 - ◆ 本剤の使用回数については、散布部分に関わらず水田全体で1回と見なすため、同一水田内で複数箇所散布を行う場合は同日中に散布すること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整すること。
 - ◆ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう注意すること。

- ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失ないように散布すること。
- 稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので、使用をさけること。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 補植は必ず散布前に行うこと。
- 下記のような条件では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
 - ◆ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
- 処理後著しい高温が続く場合には、稲にクロロシスを生じる場合があるが、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 空袋等はほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理すること。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正におこなうこと。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にし、て使用すること。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。また、吸湿しやすいので開封後は口を固く閉じ、長期間の保存はさけること。